

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2021年2月5日(金) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
X749 1	インターロイキン-6 (IL-6) 5J130-0000-023-053	<span style="background-color: red; color: white; font-size: small;">速やかに遠心</span> 血清 0.5	S09 ↓ A00 (X)	凍結	2~4	170 ※5	ECLIA	7.0以下 (pg/mL)	採血後は、速やかに血清分離し凍結保存してください。  &J

※5：生化学的検査(Ⅱ)判断料



## ● インターロイキン-6 (IL-6)

救急搬送または集中治療時において、炎症および臓器障害の重症度判定に有用な検査です。

インターロイキン-6 (IL-6) は炎症性サイトカインの一種で、感染症、外傷および自己免疫性疾患などで上昇します。全身のさまざまな部位における免疫応答を活性化させ、過剰に産生されるとサイトカインストームを生じ、多臓器障害を誘発します。

本項目の測定試薬は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) において人工呼吸に伴う挿管の必要性を判断することを目的として、2020年5月に米食品医薬品局の緊急使用許可 (EUA) を取得しています。

本邦においては、救急搬送された患者、集中治療を要する患者又は集中治療管理下の患者の重症度判定の補助を目的として、血中のIL-6を測定する体外診断用医薬品として承認されています。2021年1月より全身性炎症反応症候群の重症度判定に有用として保険適用となりました。救急・集中治療におけるCOVID-19の重症度判定への活用が期待されます。

### ▼疾患との関連

全身性炎症反応症候群、多臓器障害  
敗血症

### ▼関連する主な検査項目

プロカルシトニン  
C反応性蛋白 (CRP)

### ▼検査要項

検査項目名	インターロイキン-6 (IL-6)
項目コード	X749 1
検体量	<b>速やかに通心</b> 血清 0.5 mL
容器	S09→A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	凍結保存してください
所要日数	2~4 日
検査方法	ECLIA
基準値	7.0以下 (pg/mL)
検査実施料	170点* (「D008」内分泌学的検査「31」)
判断料	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)
備考	採血後は、速やかに血清分離し凍結保存してください。 <span style="float: right;">&amp;3</span>

### \*留意事項

全身性炎症反応症候群の患者 (疑われる患者を含む。) の重症度判定の補助を目的として、ECLIA法により血清又は血漿中のインターロイキン-6 (IL-6) を測定した場合は、本区分の「31」副甲状腺ホルモン (PTH) の所定点数を準用して、一連の治療につき2回に限り算定する。なお、本検査を実施した年月日を診療報酬明細書に記載すること。また、医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

### ●参考文献

B Prieto, et al : Clin Chem Lab Med 48 (6) : 835~838, 2010. (検査方法参考文献)

T Shimazui, et al : Shock/doi : 10. 1097/SHK. 0000000000001678 : Oct14, 2020.

(臨床的意義参考文献)